

復活の主日

ヨハネ 20・1-9

2016.3.27

クラレチアン宣教会 ジョン神父

イエスが葬られた洞窟のお墓に何も無いということは、わたしたちが神さまをあるときは見いだすことができないですが、神様はわたしたちの中に住んでおられて、現れてくださるということを教えてください。

ある女性はイエスさまのことを本当に愛していました。イエスさまをなくしたとき、女性は彼女の人生がどうなるのか心配になり泣き続けていました。女性は夜の暗闇の恐怖と静けさに一人放り出されてしまったのです。死はすべてを打ち負かすと思われまふ。女性はイエスさまが死んでしまったことを知ってしまったので、お墓に様子を見に行きました。

その女性にとってイエスさまがなくなれたことを信じることはとても大変なことでした。

その女性からイエスさまの愛をわたしたちも感じることができます。ところが、女性がお墓に到着したときお墓の中は既に空っぽだったことに驚いてしまいました。女性は急いで十二使徒たちのもとに戻り、こう言いました。“主が墓から取り去られました”。この女性というのは、既にご存知でしょうがマグダラのマリアです。マリアが急いででかけたことに注目してみましょう。復活の日曜日は女性に焦点を当てています。マリアは全ての女性の象徴です。

女性という側面を強調してみたいと思います。イエスさまの使命の中で女性の役割はいつも特別です。聖母マリアからマグダラのマリアをはじめ他の女性全ての特徴は忠実であるということです。イエスさまがローマの兵士たちに連行されたとき、ヨハネを除く全ての弟子たちはペトロでさえイエスさまを裏切ってしまった。しかし、聖母マリアと女性たちはイエスが十字架に磔（はりつけ）にあつて死んで墓に葬られるまで決して見捨てることはありませんでした。実際に人類の歴史を見ると女性たちは男性たちに今日のマグダラのマリアのように忠実です。

マグダラのマリアはイエスが死んでしまったという現実を知っていました。しかし、マグダラのマリアの生活であり人生の一部であるこの男イエスさま無しには生きることができません。マリアはイエスさまを探し続けるためにお墓に来ましたが、お墓は空っぽでした。実際イエスは復活すると約束をしていま

す。空っぽからイエスさまの復活が現実のものとなり成就したのです。

聖母はイエスさまをこの世にお生みになりました。聖母はご自身のお子様を目の前でなくされて悲しみにふけり、人生が空しいものになってしまいました。空虚の意味は暗闇、心配、傷つけられること、ストレス、失望、痛み、そして死さえも空虚になります。イエスさまが十字架に付けられたとき、それらのことが集まっていた女性たちの間で巻き起こりました。女性たちは愛した人が殺されてしまい、全てが終わったと感じ、このまま生き続けることに希望を失いました。マグダラのマリア以外の人たちは、イエスに従った人たちは神から見捨てられたと思いました。

しかし、マグダラのマリアはイエスさまが死んだという現実を受け入れることができずに探し続けました。

イエスさまが既に生きていると彼女自身がだまされたとお墓に行って思いました。彼女は空っぽのお墓を見たのです。それは何か奇跡が起きる意味です。マグダラのマリアはイエスさまがなくなったことをあきらめきれずにいました。マグダラのマリアは復活されたイエスさまの最初の目撃者になりました。

人生の中で空虚な気持ちになった時、皆様ならどうされますか？ マグダラのマリアのようにイエスさまを捜し求めますか？ 人生の中で予期せぬ出来事が悪い方向に進み、希望を失いかけたとき、それはイエスさまが皆様の中に現存されて神さまが生きておられるということを表すしるしだと思います。

あなたが希望をなくしたとき、そこには希望がある。

あなたがもうチャンスがないと感じたとき、そこにはチャンスがある

あなたが不安を感じたとき、そこには癒しがある

あなたが見捨てられたとき、そこには愛情をもって抱きしめてくれる誰かがいる

あなたがどんな薬を持っても癒されることがないと感じるとき、そこには癒しのために何かが起こる。

皆様が人生の道を見失ってしまったとき、そこには皆様が進むべき新しい道があります。

全ては、主が死から復活されたからです。死から復活することで暗闇に打ち勝ち、わたしたちに新たな人生を与えてくれます。イエスさまのご復活を心に保ち続けましょう。お墓が空だったように、イエスさまがおられます。